

2017 - 2018 年度 国際ロータリー第 2740 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 ガバナー月信



ロータリー：変化をもたらす
～ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ~



服部大次郎 「水田」

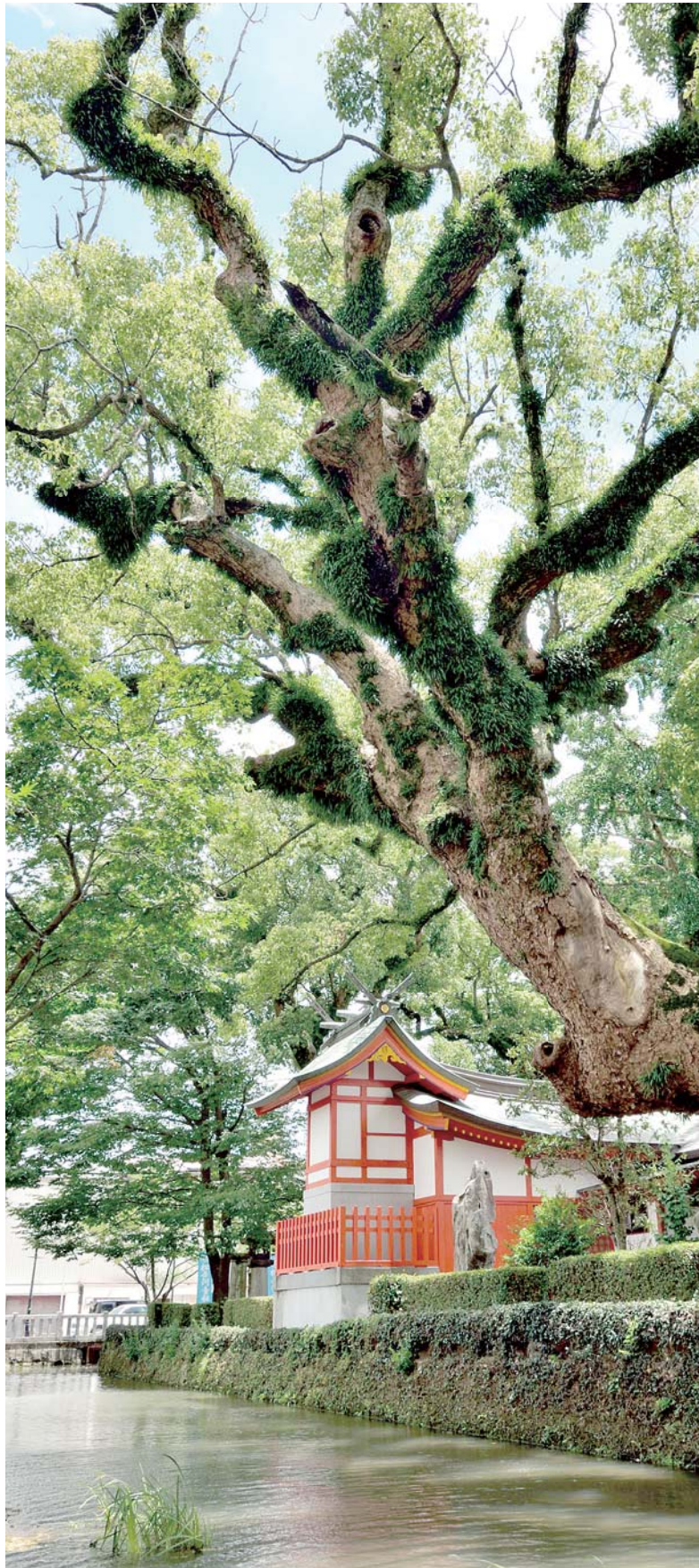
Rotary



Vol.12 | June
2018

6

2017-2018 年度ガバナー 駒井英基



松原神社 佐嘉神社(写真・文 / 富田 紘次)

佐賀城下まち歩き

松原神社 佐嘉神社

松原神社は安永元年(1772)、佐賀藩祖鍋島直茂公を祀るために創建された。隣接する佐嘉神社の御祭神は、幕末に西洋式の大砲を製造し、砲台を築くなど長崎港の警備に力を注いだ10代藩主鍋島直正公と11代直大公。境内の楠木群は松原川と一体的に神域にふさわしい空間をつくり出している。

もくじ

CONTENTS

■ ガバナー挨拶	2
■ ガバナー表彰	3
■ ガバナーノミニ・デジグネート決定宣言	4
■ 2018~2019年度会長エレクトセミナー報告	5
■ 第1・第2グループIMのご報告	6
■ 2018学年度米山奨学生オリエンテーション報告	7
■ 2018~2019年度地区研修・協議会報告	8
■ 3地区合同(RI2700・2730・2740)JAPANツアー 並びに第23回日本青少年交換研究会千葉会議	9
■ コーディネーターNEWS	10
■ 文庫通信	12
■ 新会員紹介、寄付者紹介	13
■ 会員数・出席報告	14

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2740地区
2017-2018年度 ガバナー

駒井 英基



1年は早いもので、私の担当年度もあと一カ月ということになりました。

皆様方のクラブでは、地域社会に変革をもたらせましたか。

今RIが進めている改革では、新しい人道的奉仕の拡大やクラブでの活動広報に努力していただくように薦めています。幸いにも今年度から地区のHPには地区内各クラブの奉仕事例報告を掲載いたしております。皆様方のご理解を頂き、新聞やマスコミに対し取材依頼をしていただきました関係からか、30例程の奉仕事例をご紹介することができております。これは地区フェイスブックとも連動して掲載されますので、現在アクセス数がかなり上がってきております。

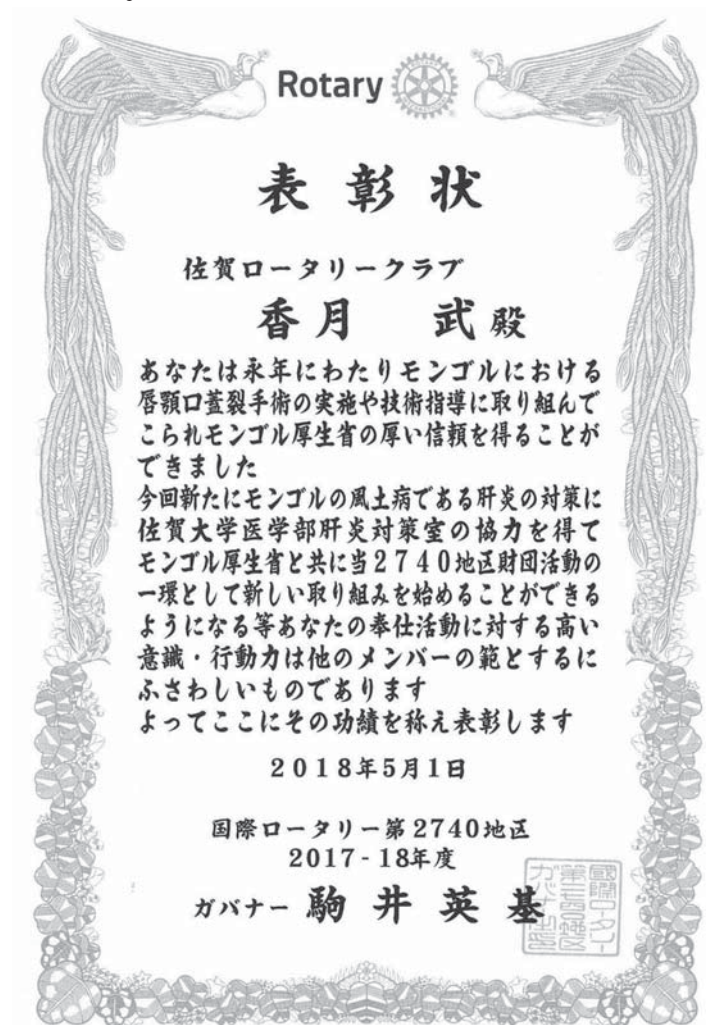
このような活動は単年度で終わるのではなく、地道に続けていくことこそ、市民県民の皆様方へのロータリー活動への認知度向上につながっていくものと信じております。今後もこういった活動は続けていってほしいと願っております。

また、人道的奉仕も各クラブによって子供たちや老人の方々へ熱心に活動していただけたようです。私からも心より感謝申し上げます。

地区単位では、地区財団活動の多大なる努力の成果ではありますが、モンゴルにおける唇顎口蓋裂の手術を行ってきたばかりでなく、地元のお医者さんや看護婦さん等の医療関係者を佐賀大学に招き、人材育成を行い、地元でもかなりの施術が行えるようになったことです。このようなグローバル補助金を使った国際的な医療支援こそロータリーの醍醐味です。モンゴル厚生省からも認められ、次なる事業として計画しているモンゴルでの肝炎撲滅事業に取り掛かることができました。3年、5年後にかの地の風土病である肝炎が劇的に減少できますことを今から楽しみに致しております。尚、これらの事業で献身的なご努力頂いた佐賀大学名誉教授である香月武先生（佐賀RC会員）に心から敬意を表し、5月にガバナー表彰をさせていただきました。また、並行して行っているタイにおける飲料水対策事業もグローバル補助金の対象になって充実していくことも願いつつ、今月のご挨拶とさせていただきます。

ガバナー表彰

モンゴルに医療支援を続けられている佐賀ロータリークラブ香月 武会員が、駒井 英基ガバナーより表彰されました。





ガバナーノミニー・デジグネート決定宣言



2020～2021年度ガバナー候補者の推薦について、2017年12月ガバナー月信 (Vol.6) にて地区内クラブ会長宛に募集が通知されましたが、期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いまして、国際ロータリー細則第14条第2節「ガバナー指名手続」の定めにより、2018年5月17日のガバナー指名委員会に於いて指名されました花島光喜君 (鹿島RC) が、2020～2021年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネートに選出されたことを決定宣言いたします。

2018年6月1日
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 駒井英基

花島 光喜 (はなしま みつき) 君のプロフィール

生年月日 1945年3月16日
現職 株式会社宮園電工 代表取締役
住所 〒849-1311 鹿島市大字高津原41-3
経歴 1960年 鹿島市立能古見中学校卒業

◆ロータリー歴

1984年12月4日 鹿島ロータリークラブ入会 (33年皆勤)
1992年～1993年 クラブ幹事
2004年～2005年 クラブ会長
2012年～2016年 米山記念奨学地区委員 (4年)
2017年～2018年 第3グループガバナー補佐

1987年8月 ポール・ハリス・フェロー
2004年8月 ベネファクター
2012年6月 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
2012年～18年 米山功労者 (第6回) マルチプル

◆団体歴 (現在)

一般社団法人 九州経済連合会 会員
一般社団法人 佐賀県電気工事業工業組合 理事
一般社団法人 佐賀県電業協会 副会長
武雄電気工事業協同組合 副理事長
武優会 (武雄税務署) 会員
社会福祉法人 鹿島市社会福祉協議会 理事
社会福祉法人 花木庭会 鹿島療育園 理事
鹿島商工会議所 常議員 (2号議員)
鹿島地区安・管連絡協議会 理事 (鹿島警察署)
警察官を励ます会 理事 (鹿島警察署)

2018～2019年度会長エレクトセミナー報告

PETS実行委員長 (佐世保RC担当) 梅村 良輔

2018年3月18日 ホテルオークラJRハウステンボスに於いて、来期2018～2019年度 国際ロータリー第2740地区57クラブ会長エレクト予定者対象の研修セミナー (PETS) が佐世保北ロータリークラブ主催にて約90名の参加のもと開催されました。

点鐘と出席者の紹介、駒井ガバナーよりご挨拶の後、福田ガバナーエレクトより次年度地区運営方針の発表がありました。

2018～2019年度RI会長エレクトのバリン・ラシン氏の「BE THE INSPIRATION (インスピレーションになろう)」が発表され「鼓吹、激励、実行」という意味もあるということで「インスピレーションになろう」という解釈をして下さいと言われました。一つの解釈にされなかったのは、ロータリアン一人一人が必要と思われるロータリー活動をして欲しい為に、一つの解釈に固定されなかったそうです。国際ロータリーの運営方針、次年度地区の運営方針、と説明いただきました。

続いて、研修セミナーでは2003年～2004年度ガバナーであられた安部パストガバナーによる「ロータリーで学んだ事」という演題でご講演頂きました。

ご自身がガバナーになるときの話、特に苦勞した話から現在の社会状況、人口減少問題、人工知能ロボット、不易と流行、蜘蛛の糸の話など良いお話ばかりで、メモを取る会長予定者の方ばかりでした。特に心に残った一つとして“良い経営者は一つ一つの不安を乗り越えている”というところでした。

今、ここにいらっしゃる方は殆どの方が経営者で、同じ様な悩みを抱えていらっしゃるのではないかと思います。

終盤に次年度地区幹事、次年度地区会計長と説明を頂き、講評は地区研修リーダーの崎永剛パストガバナーからありがたいお言葉を頂き、無事終了することが出来ました。

懇親会におきましては、福田ガバナーエレクトより挨拶を頂きその中で今年度は「奉仕の理想」ではなく「R-O-T-A-R-Y」(アール オー ティ エー アール ワイ)を歌おうという事でした。

乾杯は千葉ガバナーノミニーに登壇して頂きました。

最後は私がPETS担当委員長という事で閉会の辞を述べさせていただきました。



第1・第2グループIMのご報告

佐賀大和RC会長 **井手 浩利**

去る3月24日(土) ホテル龍登園(佐賀市大和町)に於いて、第2740地区 第1・第2グループ 合同のインターシティ・ミーティングを開催いたしました。

八頭司博ガバナー補佐、山口誠二ガバナー補佐の主催で佐賀大和ロータリークラブがホストを務め、野口清PG、福元裕二PG、笠慶宣地区幹事ご臨席のもと、210名を超えるロータリアンに参加して頂きました。

今年度は、両ガバナー補佐のご提案で、テーマを「ロータリーの変革期の今こそ、ロータリーを学び直しロータリーの素晴らしさを再認識しよう」とし、ロータリー入会3年未満の会員を中心にベテランのロータリアンも多数参加頂き、共に学び今後のロータリー活動に生かすことができればと考ました。

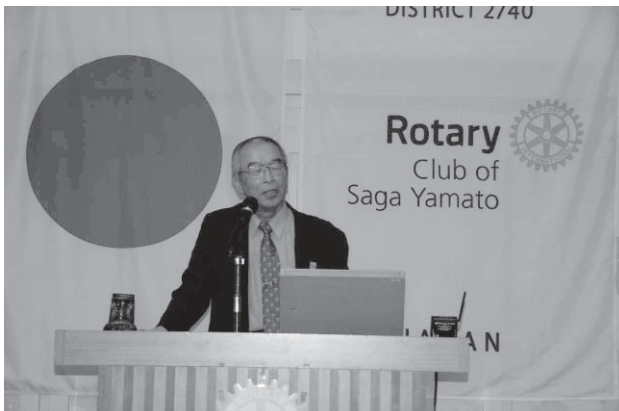
第1部は、地区会員増強委員会委員長の佐藤豊君による講演、演題は『ロータリアンはサンタクロース』で、会員増強の大切さを中心に、今後の活動の道しるべとなるような話をして頂きました。手元資料とパワーポイントでより解りやすく、新旧問わず皆さん理解を深めて頂いたものと思います。

また、このIMは第1・第2グループの数少ない親睦の場でもあるので、入会3年未満の参加者43名の皆さんにはステージに登壇してもらい、自己紹介をして頂きました。

第2部の懇親会では、お酒を酌み交わしながら交流を深め、親睦の輪が広がりました。

今回、ガバナー補佐のご指導のもと滞りなく終える事ができたことに感謝し、改めてロータリークラブの素晴らしさを実感いたしました。

最後に、各クラブより沢山のご登録と皆様のご協力に深く感謝を申し上げます。



2018学年度米山奨学生オリエンテーション報告

地区米山記念奨学委員 芦塚 義幸 (大村RC)

2018学年度米山奨学生オリエンテーションが4月1日東彼杵町総合会館で行われ、大家委員長の元、新米山記念奨学地区委員も半数ほどが入れ替り、会員同士が自己紹介を行ったあと、新米山奨学生16名と、奨学生お世話カウンセラーが別々の部屋で米山記念奨学生の生い立ちや、現状について、奨学生に期待している事などの説明が午前中話された。奨学生は、緊張した面持ちで説明を聞いていた。

午後からは、奨学生と担当カウンセラーとのお出迎え式を行いました。両名が握手をし挨拶したのち、各テーブルに戻ります。終了後30分ほど各クラブと奨学生がミーティングを行い、一日の日程が終わりました。

本年は13名から16名に増員し、素晴らしい米山記念奨学生を受け入れる事が出来ました。彼らへの支援と交流は、日本と国際との垣根を取り払い、平和に大きく貢献するものと確信します。

各クラブに感謝すると共に、1年間ご支援宜しくお願い致します。



2018～2019年度地区研修・協議会報告

2018-2019年度地区研修・協議会 実行委員長 **長島 正** (佐世保RC)

2018年4月15日、ホテルオークラJRハウステンボスに於いて、国際ロータリー第2470地区2018～2019年度地区研修・協議会が開催されました。

開会にあたり、駒井英基ガバナーより、次年度のスタートを祝福するご挨拶を頂きました。続いて、福田金治ガバナーエレクトが、次年度国際ロータリー・地区運営方針を詳しく説明されました。

「福田金治ガバナー講演」では、「ロータリーの基本情報」「会長の情報」「幹事の情報」「委員長の情報」「RI・地区の情報」という大きな分類に分けて、ロータリーについての知識を整理して、分かり易く説明されました。広い会場を埋め尽くした参加者は、資料をめくりながら、熱心にその話に聞き入っておられました。

例えば、ガバナー補佐の選考基準など、知っているようで知らなかったことが明確に伝えられ、また、クラブリーダーシッププランについては、今回改めてまとめられた資料が配布され、その要旨について詳しく説明がなされました。

「次年度地区運営について」は、増本一也地区幹事より、統括委員会を作らず、15委員会と3小委員会を設置する本年度の方針を改めて説明され、地区大会については、11月16日(金)に地区大会記念ゴルフ大会、またRI会長代理歓迎懇親会。11月17日(土)には地区大会本会議をアルカスSASEBOにて開催することを改めて説明されました。

「次年度会計について」は、前年度と異なる点を、出席者にご理解いただけるよう説明され、異議なしの声とともに、満場の拍手で承認されました。

最後に、崎永剛地区研修リーダーから「講評」を述べられ、本日の出席者を労われ、また、ホストとしてお世話をした佐世保ロータリークラブのメンバーへ感謝の言葉をかけていただきました。

「懇親会」は、福田金治ガバナーエレクトの挨拶、千葉憲哉ガバナーノミニーの乾杯の発声によって始まり、立食形式の懇親会を楽しまれ、最後は「手に手つないで」を斉唱して閉会致しました。



3地区合同 (RI2700・2730・2740)

JAPANツアー並びに第23回日本青少年交換研究会千葉会議

2018年5月9日(水)～13日(日)

(12日～13日千葉会議出席)



Rotary

Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2018年5月号

NEWS

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第3ゾーン担当

■「時勢は人を作る（勝海舟：氷川清話）」

今年の国際協議会に出席されたガバナーエレクトの皆様には研修を終えられて新たな気持ちでガバナー年度に備えておられるものと思います。

来年度のラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」であります。今年度のライズリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」のテーマの延長線上のテーマではないでしょうか。しかし、インスピレーションをどのようにロータリアンに理解してもらうことができるかが難題であろうかと考えます。

私は「時勢は人を作る（勝海舟：氷川清話）」という言葉が、ラシン会長の意図するところではないかと考えます。ロータリアンがロータリーの意義を社会に理解してもらうために、若者を巻き込んで共に行動を起こすことが求められています。時勢を見失ってはなりません。

先日の日台親善会議に出席された方も多いと思いますが、台湾、韓国そして日本に見られる東洋的な考え方と欧米諸国の考え方に違いがあるように思われますが、目指す理念は同じであると思います。

国際ロータリー 理事 石黒慶一

■「地域社会を変える行動人」

「世界を変える行動人」について、皆様は昨年来RIから発信されてくる数多くのパンフや写真をご覧になっていらっしゃるかと思います。「世界を変える行動人ロータリアン」の様子を一般社会へ伝えることは、ロータリーの公共イメージ向上という観点から大事なことであります。

一方、各クラブと地区にとって重要なことは、ロータリアンがそれぞれの「地域社会」で世の為、人の為に日々活動していることを地元の人々に先ずよくご理解頂くことです。「世界を変える行動人」はその延長線上にありますが、原点となる「地域社会を変える行動人」は皆様方のそれぞれのクラブや地区にいらっしゃいます。



来たれ学友中心の若者の集い
坂出東四国ロータリー衛星クラブ
入会金1万円・年会費7万円
衛星クラブ議長

3月末東京で開かれました「会員基盤向上セミナー」で「地域社会を変える行動人」の一人として、四国地域を中心にカバーする「坂出東四国ロータリー衛星クラブ」をこの度立ち上げられました2670地区直前ガバナーのARPIC 前田直俊さんを紹介致しました。この新クラブは学友を中心に、現代社会の多様な入会候補者のニーズを汲み取ることが出来る会員構成で設立準備を進められました。

日本全体の会員純増率は、過去5年間のDataでは、ほぼ+/-ゼロに近い数字であり、40歳以下の会員数は僅か1%ほどです。今後の5年間は、会員の高齢化が更に進み、既存クラブでの純増は極めて難しい状況が続くと思われます。従いまして会員数の伸び余地が残されているのは、クラブ運営を多様化した「衛星クラブ」や「新型クラブ」ということになりそうです。その様なクラブが増えて行きますと、既存クラブの運営も次第に変化して行くのではないのでしょうか。日本では女性会員の入会が1989年に可能になってから30年近くが経過しやっと6%を占めるようになりました。

日本は変革に時間が掛かる国ですが、私達の工夫と努力次第で国際水準への到達は可能と前向きに捉えて行きましょう。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■「ロータリー活動の実働部隊はクラブ会員である」

言うまでもないことですが、ロータリー活動の具体的実働部隊はクラブの会員であり、その直接のリーダーがクラブ会長です。クラブの会長がやる気を起こさなければ、如何にRI会長やガバナーが旗を振ってもどうにもならないし、逆にクラブ会長がやる気になればかなりの計画が実現します。そして、クラブ会長は地区ガバナーのやる気の強弱を感じて行動してくれる可能性があります。従って、ロータリー活動を活発化するためには、ガバナーが如何にしてクラブ会長にやる気を起こさせるかだと思います。

そのガバナーを支援するのがRI会長であり、私たちRI国内委員団だろうと思っています。ところが、例えば私は九州4地区担当のARCですが、私の所属する第2700地区の事情はある程度把握できているし、ガバナーに対しても具体的な支援が可能ですが、他の3地区については支援が限られます。そこで、今年度は主として自分の地区で会員増強に効果があるだろうと思われる方法について試行錯誤して、その効果をみて来年度からは他の3地区のガバナーにも具体的な方法で本格的に働きかけようと思っています。幸い今年度、第2700地区の安増ガバナーは5年間で会員を6%、つまり1年で1.2%の増強を目標にするという第一次5カ年計画を立てています。現在の会員増の勢いから見ると目標達成は簡単ではないと思われますが、例年よりは多い会員増が期待され、6月末が待たれます。

話の次元は変わりますが、既存のクラブの会員増強も必要ですが、ロータリー活動の真の活性化には、従来型のクラブとは異なるクラブ運営に柔軟性を持った新しいタイプのクラブを新設して、奉仕の心と活発で実際の社会奉仕活動を好む若い世代の会員を増やすことが必要であり、このプロジェクトに取り組むリーダーを養成することが困難であるけれど極めて重要だと思います。女性に期待したいですね。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭

Rotary

Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2018年6月号

NEWS

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■嬉しいニュース



去る4月27、28日イタリアのターラントで、イアン会長主催の平和会議（母子の健康）が開催されました。その席で偶然、財団学友（2006～2008年）の澤屋奈津子さんにお会いしました。彼女は2760地区名古屋大須ロータリークラブをスポンサーに持つ、活発な女性活動家です。現在はアフリカのニジェールに住み、現地で仕事に励まれています。彼女とは、昨年アトランタ大会で名刺交換をして我が地区出身と知り、親近感を覚え家内と3人で30分くらいお喋りをしたので、今回の再会は3人で抱き合って喜びました。しかし、平和フェローなど海外で働く学友の中には精神的に病む者、就職先が決まらない者など、新たな課題となっています。社会に出てからも彼等と連絡を取り合い相談相手となって、彼等の志を頓挫させないようにしたいものです。

国際ロータリー 理事 斎藤直美

■ロータリーの評価は毎日の行動

ロータリアンは、ロータリーをどのように思い、感じて、どう行動していきたいのでしょうか。もちろん人それぞれ思いも違いますし、行動していきたい内容も異なります。しかしロータリアン以外の人はクラブもロータリアンも同質とみています。全体像がいわゆるロータリーの中核的価値観に合致すれば公共イメージと認知度につながります。

自分たちの土俵であるロータリーを良くすることは自分自身をさらに高めることができます。それにはロータリーを学ぶことです。日常生活において、物事に興味をもって取り組むと、さらに楽しめることが多いことと同じだと思います。

公共イメージと認知度の向上は、いわゆるブランディングであります。ロータリアンに気づくいろんな伝統・行事があります。古い歴史がありますが、その時代時代において人々が引き継ぎ、さらに良いものに変えてきたものが残っているわけです。今世紀に増加しているボランティア団体の中に、ロータリークラブが存在しているその重要性、良さを実感できるためには、一人一人がどうロータリークラブに貢献できるか、仲間と楽しめるかを考えていくことだと思います。そして、ロータリーが他の人から評価されるのは、ロータリアン個々の毎日の行動や発言によるものが大であると自覚することが必要であると私は思います。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規

■なぜ、公共イメージの向上が必要か

「ロータリーはこの14年間、会員が増えていない。クラブ数は15%増えているがバケツから水が漏れている状態だ」これは私がこの3月に参加したエバンストンの研修であるモデレーターから聴いた言葉である。RIの危機感をひしひしと感じた。多額の費用をかけたアンケートの結果、ロータリーを知る人が意外と少なく、また知っていてもその活動についてほとんど知られていなかった。改めて今「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどう違うのか」「なぜロータリーが必要なのか」が私たちロータリアンに一人ひとりに問われている。

2011年にRIはロータリーの公共イメージ向上を目的とした数年間の取り組みを開始した。その目的はロータリーに対する理解を促進すること、また現会員や入会見込者、寄付者、戦略パートナーのモチベーションを高め行動を促すことである。近年、戦略計画の1つの「公共イメージと認知度の向上」について「世界を変える行動人」キャンペーンが推進されている。

これは従来のロータリーと一般社会とのコミュニケーションのあり方を見直すもので長期的かつ「私たちが何者であるかを伝えるキャンペーン」である。具体的にはロータリーのアイデンティティ（ロータリーらしさ）を共通のビジュアルを用い、様々な活動の行動に焦点を当て、かつ「物語」（ストーリー）に仕立てて社会に発信しようというものである。クラブの活動・文化をストーリーにしてSNSなどで発信することで社会から共感を得る狙いがある。確かに人は物語から学び感動する。この点においてホームページページの見直しも必要ではないか。そこに共感を呼ぶストーリーがあるか。写真1枚にも活動するロータリアンの姿が生きて映し出されているか。行動を呼びかけるものになっているかどうか。ご検討をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春

■公共イメージ向上につながる三つの基本

本年度第3ゾーンでは、各クラブと地区の公共イメージ向上につながる三つの基本的な活動の推進に取り組みしました。一つはロータリー活動のマスメディアを通じた広報活動のルーティン化、二つ目は会員の「My Rotary」への登録率アップ、三つ目は「Rotary Club Central」への各クラブの入力と、活用率のアップでありました。二つ目と三つ目の目標は今期かなりの前進が見られましたが、広報活動は地区によっては進展が見られるものの、次年度は更なる新たな戦略が必要です。各地区リーダーの皆様の協力を引き続き宜しくお願い致します。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■今年度スタート時のアンケートから

地区リーダーの皆さんは「魅力あるクラブ、個性的なクラブを目指すことがクラブの活性化に繋がり『退会防止』『会員増強』に効果を発揮する」とお考えでしたので、目的達成支援の為に地区別専任担当のARCの方々から、より具体的な情報ときめ細やかな施策を提供させて頂きました。地区・クラブの環境などの違いから画一的な支援では対応しきれないことを改めて感じ、専任担当制は効果があったのではと結果に期待しております。高島・伊藤・穴井ARCの地道なご努力とご協力に心より感謝申し上げます。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男

■お陰様をもちまして地区ガバナーをはじめ、関係者の皆様のご協力により2017-18年度の国内3ゾーン合同のコーディネーターニュースは年度最終号（6月号）をお届けすることができました。2018-19年度も引き続き発行を予定していますのでよろしくお願い致します。地区において私もコーディネーターがお役に立つことがあれば遠慮なくよりのコーディネーターにお申し付け下さい。

編集担当 第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人

文 庫 通 信 (368号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「私がロータリアンになって学んだこと」 田中作次 2017 1p
(D.2660地区大会参考資料)
- ◎「素晴らしいロータリアンであり続けるために」 渡辺好政 [2018] 3p
(D.2790地区大会記念誌)
- ◎「奉仕の理想(理念)と職業奉仕論について」 渡邊宏二 2018 2p
(D.2530月信)
- ◎「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」 三木明 2018 7p
(D.2780地区大会報告書)
- ◎「『四つのテスト』に対する愚見」 岡田幹矢 2018 1p (D.2710月信)
- ◎「ロータリーの今日的課題 鈴木秀憲 [2018] 17p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「会員増強の新しい考え方」 2018 2p (D.2650月信)
- ◎「会員増強の発展(3つの方法があります)」 加藤玄静 2017 1p
(D.2660地区大会参考資料)
- ◎「会員維持のための12のポイント」 加藤玄静 2017 1p
(D.2660地区大会参考資料)
- ◎「夢を語り、現在(いま)を刷新(ガバナー月信ロータリーコラム総集編)」
刀根莊兵衛 2017 67p

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

【お詫びと訂正】 月信5月号に誤記載がありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

訂正: 6頁 第4グループIMのご報告

(誤) 宮嶋傳兵衛パストガバナー → (正) 宮島傳兵衛パストガバナー

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。

2・3月入会

牛津RC  松尾英利 君 中央環境総設(株) 代表取締役	北松浦RC  藤原純廣 君 小規模多機能ホームたんぽぽ ホーム長	佐世保南RC  原 浩志 君 JTB九州佐世保営業所 営業所長	佐世保東RC  末竹彦司郎 君 春風税務法律事務所 弁護士	佐世保東南RC  豊竹新吾 君 小嶋産業(株) 代表取締役
ハウステンボス佐世保RC  高田孝太郎 君 ハウステンボス(株) 取締役	島原RC  馬場善信 君 (有)ばば	大村北RC  指方宏彰 君 (有)指方工務店 専務取締役	長崎北東RC  西村泰徳 君 (有)泰栄メディカルひまわり薬局 代表取締役	

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証者リストに基づき寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

■ ロータリー財団

種 類	氏 名	ク ラ ブ 名
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	樋渡 千春	武 雄
ポール・ハリス・フェロー	平野 実	武 雄
	井手美知子	武 雄
	松本 壽雄	伊 万 里
	坂本慎一郎	唐 津 東
ポリオプラス	中部 省三	長 崎 北

■ 米山記念奨学会

種 類	氏 名	ク ラ ブ 名
メジャードナー	朝永 春郎	松 浦
マルチプル	花島 光喜	鹿 島
	宮本 峻光	諫 早 西
	小川 春彌	長 崎 南
功労者	織田 喜六	鹿 島
	山下 義則	鹿 島
	松本 壽雄	伊 万 里
	須崎 満弘	佐 世 保 東

2018年3月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第1グループ	佐賀	4	70.4	73	2	72	3	0	2	-2	-1	
	小城	3	78.2	27	2	29	2	0	0	0	2	
	牛津	4	63.7	32	0	31	0	1	1	0	-1	
	多久	5	78.9	37	4	37	4	0	1	-1	0	
	佐賀大和	4	77.8	26	5	28	6	0	0	0	2	
	小計		73.8	195	13	197	15	1	4	-3	2	
第2グループ	佐賀西	3	66.9	39	2	42	2	0	0	0	3	
	佐賀北	3	66.7	43	2	44	1	0	0	0	1	
	佐賀南	4	72.9	41	3	40	3	0	1	-1	-1	
	神埼	4	86.0	41	4	39	4	0	0	0	-2	
	佐賀空港	3	86.4	16	1	17	1	0	0	0	1	
	小計		75.8	180	12	182	11	0	1	-1	2	
第3グループ	有田	4	75.8	31	0	30	0	0	2	-2	-1	
	武雄	4	93.9	56	4	57	4	0	0	0	1	
	鹿島	4	93.9	33	4	31	4	0	2	-2	-2	
	嬉野	4	96.3	28	2	27	2	0	1	-1	-1	
	大町	5	75.7	16	0	14	0	0	0	0	-2	
	白石	3	66.7	5	0	5	0	0	0	0	0	
	太良	4	92.5	10	0	10	0	0	0	0	0	
	小計		85.0	179	10	174	10	0	5	-5	-5	
第4グループ	唐津	3	88.2	57	0	60	0	0	0	0	3	
	伊万里	4	96.9	28	0	32	0	1	0	1	4	
	唐津東	5	82.7	51	0	51	0	0	2	-2	0	
	唐津西	3	82.8	31	0	34	0	0	0	0	3	
	伊万里西	4	95.9	44	0	44	0	0	0	0	0	
	唐津中央	4	90.8	38	4	36	3	0	1	-1	-2	
	小計		89.5	249	4	257	3	1	3	-2	8	
	第5グループ	佐世保	3	100.0	79	0	78	0	0	2	-2	-1
平戸		4	75.3	34	2	33	2	0	0	0	-1	
佐世保西		4	87.0	24	2	25	3	0	2	-2	1	
北松浦		4	86.9	26	0	28	0	1	0	1	2	
松浦		5	89.8	28	1	30	1	0	0	0	2	
小計			87.8	191	5	194	6	1	4	-3	3	
第6グループ		佐世保南	4	100.0	74	0	74	0	1	2	-1	0
	佐世保東	4	88.0	21	0	23	0	1	0	1	2	
	佐世保北	4	99.4	42	1	43	1	0	0	0	1	
	佐世保中央	4	89.1	45	1	47	1	0	0	0	2	
	佐世保東南	3	66.3	28	0	36	0	0	0	0	8	
	HTB佐世保	4	78.2	23	3	23	2	1	1	0	0	
	小計		86.8	233	5	246	4	3	3	0	13	
	第7グループ	大村	4	86.1	51	3	48	3	0	3	-3	-3
		島原	4	82.5	26	2	28	2	1	0	1	2
		雲仙	5	89.1	19	1	19	1	0	0	0	0
大村北		3	93.4	20	1	23	1	1	0	1	3	
島原南		3	71.4	27	1	25	1	0	1	-1	-2	
大村東		4	75.7	43	4	42	3	0	1	-1	-1	
小計			83.0	186	12	185	11	2	5	-3	-1	
第8グループ	諫早	4	77.8	73	0	75	0	0	0	0	2	
	諫早北	4	69.4	74	4	72	3	0	1	-1	-2	
	諫早西	3	97.0	43	0	46	0	0	0	0	3	
	諫早多良見	4	84.4	32	0	32	0	0	0	0	0	
	諫早南	2	94.4	16	6	18	9	0	0	0	2	
	小計		84.6	238	10	243	12	0	1	-1	5	
第9グループ	長崎	4	80.1	78	0	76	0	0	5	-5	-2	
	福江	4	84.3	33	0	33	0	0	2	-2	0	
	長崎北東	3	77.9	38	3	38	2	1	0	1	0	
	福江中央	3	85.7	20	0	20	0	0	0	0	0	
	長崎西	4	84.1	49	0	46	0	0	0	0	-3	
	長崎琴海	3	51.3	16	0	14	0	0	0	0	-2	
	小計		77.2	234	3	227	2	1	7	-6	-7	
第10グループ	長崎北	4	80.8	85	0	84	0	0	1	-1	-1	
	長崎南	3	77.1	71	0	68	0	0	3	-3	-3	
	長崎東	5	77.6	43	2	44	2	0	0	0	1	
	長崎みなと	4	88.8	25	1	28	1	0	0	0	3	
	長崎中央	3	95.3	60	0	56	0	0	2	-2	-4	
	長崎出島	5	78.9	59	8	61	12	0	1	-1	2	
	小計		83.1	343	11	341	15	0	7	-7	-2	
57クラブ合計			82.9	2,228	85	2,246	89	9	40	-31	18	

※上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2018年3月末までの増減です。

＊上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
 7月1日から2018年3月末までの増減です。



服部大次郎 「アジサイ」

作品介绍

〈表紙〉いつの間にやら田植も終わり、
早苗そよそよ 雨はさたさた。
梅雨の晴れ間に夏は来ぬ。
〈裏表紙〉雨降るごとにきれいになる
ライトブルーのアジサイを
カップにさして部屋に飾る。
花言葉は一家団欒。

国際ロータリー第 2740 地区 ガバナー事務所

〒840-0815 佐賀市天神2丁目 2-28 松尾天神ビル1103号室
TEL 0952-26-6868 FAX 0952-26-6844
HP <http://www.d2740.org/>
E-mail : ri2740sagapiece@orion.ocn.ne.jp